

事務事業名	27100 商業活性化推進事業 (2) (空き店舗活用事業)	予算科目	会計 一般 7	款 項 目	7 1 2	所管課	商工観光課	担当班	商業振興班
基本施策	2 商工業の振興	根拠法令	旭市商店街等活性化事業補助金交付要綱等						
施策の展開	4 商業の振興	戦略事業	25 空き店舗活用事業						
施策の展開		戦略事業							
事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 56 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●商店街の振興、活性化による地域経済の発展を図るため、指定商店街地域に位置する空き店舗出店する際の経費の一部を助成する。●補助率：①店舗改修費等：補助対象経費の2分の1以内(100万円以内)・賃借料：補助対象経費の2分の1以内(月額5万円以内)				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
・商店街の空き店舗が増加したため、市街地の活性化を図るべく空き店舗を利用した新たな事業への支援を開始。	・大型小売店舗が次々と進出し、大型店で買物する客や、更に市外の大型店で購買する市外流出も見受けられ、商店街数や商店数は年々減少傾向にある。 ・商店街に位置する空き店舗が増加したため、中心市街地を活性化させ賑わいを取り戻す必要がある。	・事業対象者から商店街の賑わいの創出は地域産業の発展を図る上で重要であるとの要望や意見がある。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	
1. 空き店舗活用事業補助金	2,000	千円	0	0	1,000	2,000	2,600	
指定商店街での飲食店開業に係る店舗改修費補助		千円						
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)	千円	0	0	1,000	2,000	2,600
1. 国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	0	3. 地方債	千円					
4. その他	0	4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	0	0	1,000	2,000	2,600

前年度増減理由 前年度は1件だった補助金申請者が2件に増えたため。

従事職員数 常時 1人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

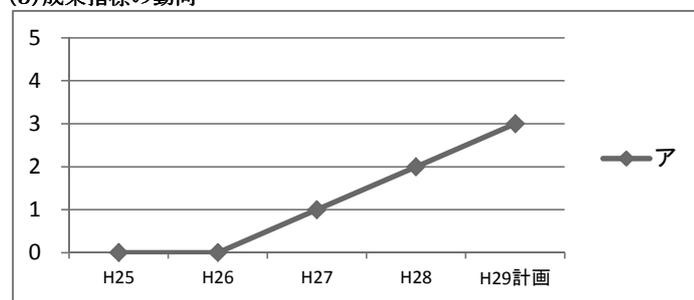
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・創業ワンストップ窓口及び創業セミナーにおいて、本補助金の案内を行った。		ア 広報等での周知回数	回	1	1	1	3	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 指定商店街地域に位置する空き店舗で新たに事業を行おうとする者、または事業を開始して1年未満の者(法人・個人、市内外を問わない) 意図 空き店舗が小売業、飲食業等に活用され、商店街の活性化による地域経済の発展が図られる。		ア 空き店舗補助金活用事案件数	件	0	0	1	2	3

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	コスト比率		
	普通	ある程度ある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ほとんどない		①	②	③
			④⑤	(4)	⑥	
			⑦⑧		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難										
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)											
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画	
【コメント】 (低下の場合、その理由)					成果動向	ア	0	0	1	1	1
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()					
通年	通年	制度の更なる周知を図る(HP等)			通年	空き店舗活用事業補助金については、創業支援事業と並行して周知及び利用者拡大を図りたい。					